

# まちづくり人養成講座～新しい時代の話合い入門

## ■はじめに

### □講師自己紹介

### □本講座のアウトライン

この講座は、将来の西宮市の地域づくりで活躍する「まちづくり人」を養成するための講座として行われています。

講座のテーマとしては、まちづくり人養成の手始めとして、地域づくりの現場でよく行われる「会議・会合・打合せ・話合い」が上手にできる人になることを目標にします。

講座の性質上、あとで説明するような「ファシリテーション」あるいは「ワークショップ」の概念・技術を活用します。そこで、ファシリテーションについてもできるだけ分かりやすく解説し、その技術を習得していただけるように進めるつもり입니다。

### □講義の進め方

1回の講義は、講師によるレクチャーが半分、皆さんのワークが半分程度で構成されます。皆さんは、講師から何かを教わるだけでなく、自ら課題を発見して解決するような、そんな場面もたくさん出てきます。こうしたワークには、ぜひ積極的に作業に参加して下さい。そこから得られた経験や知識もまた、講義の成果として持ち帰っていただきたいと思ひます。

加えて言うなら、こうした講義の進め方からも、会議の進め方について学んでいただければと考えています。

### □修了証の発行、遅刻欠席の取り扱い

全部出席された方には修了証を発行します。

(もし遅刻しても、できるだけ出席していただきたいですが、他の受講者の方のご努力も考えて、1時間以上の遅刻は修了証的には欠席とみなす約束にしておきます。)

### □その他の約束事・注意事項

- ①携帯はOFFにするかマナーモードにして下さい。
- ②全ての皆さんが快適に過ごす権利があります。暑い寒いなどの注文はいつでもどうぞ。  
→今日は気分がよくないので積極的になれない。というのもOKです。
- ③トイレはいつでもOK。
- ④講師の講義中はいつでも質問OKです。むしろ歓迎です。遠慮なくどうぞ。
- ⑤私の講義については、いつでも写真撮影OKです。ネット公開もOK。
- ⑥講義は全てパブリックドメイン（改変自由・再利用自由）とします。  
→ただし講師の紹介するコンテンツで、出典の明記されたコンテンツについては、著作権がオリジナルの著者等にある可能性がありますので、ご配慮下さい。
- ⑦スライドを撮影することは、他の受講者の方の気が散るので遠慮して下さい  
→あとでダウンロードできるようにしますので写真を撮らなくても大丈夫
- ⑧皆さんの写真を市役所の担当や、講師・スタッフが撮影することがあります。  
→市役所では講座の記録として写真撮影する他、この講座の紹介のために写真を（ネット上を含めて）公開する場合があります。できるだけ個人が特定できないよう配慮いたしますが、不都合のある方はお申し出下さい。  
→講師の撮った写真は、講師のブログ・Facebook等で公開される可能性があります。不都合のある方はお申し出下さい。

# まちづくり人養成講座～新しい時代の話合い入門 第5講

## 0. あいさつ (5分)

### 1. 第1～3講・4講の復習 (5分)

#### ■「良い話し合いにするためのコツ」を学びました。

良い話し合い＝「皆の納得を引き出す」ためのコツ

- ・人：話を上手に聴く  
(相手の立場にたって聴く、うなづく、相づちを打つ)
- ・場：場の安全を確保する  
(怒られない、否定されない、話しやすい環境をつくる)
- ・技術：意見の出やすい工夫をする  
(ワークショップ技法やファシリテーション技術)

#### ①人：進行係がいるとうまくいく (第1講)

- ・話し合いの流れを整理する役割＝ファシリテーターが必要
- ・第三者的な人が望ましい

#### ②場：話しやすい環境をつくるとうまくいく (第2講)

- ・アイデアを出すワークを通じて体験
- ・アイデアをだすためにルール  
批判禁止、質より量、他人の意見に便乗、突飛な意見歓迎

#### ③技術：やり方を工夫するとうまくいく (第1～3講)

- ・旗あげアンケート  
→みんなが意見を言える(選ぶ)、少数意見を黙殺しない。
- ・ポストイットをつかう  
→1人3枚かけば、20人なら60個の意見が出る。
- ・ホワイトボードを使うとうまくいく  
→話の流れが見える。脱線しない。

#### ④ダメ話し合いの実験：ダメな話し合いはどこがダメかを体験 (第4講)

### 2. 皆さんのアンケートから (5分)

### 3. 池山さんの講座「意見を収束させるための方法を知ろう」(約90分)

レクチャー①アイデアの必要性・KJ法についてのレクチャー

#### ワーク① 第1回收束法実施

レクチャー②収束法がうまくいかない3つの理由について

#### ワーク② 第2回收束法実施

振り返りとまとめ

### 4. 次回予告・アンケート記入 (約10分)